



P R E S S R E L E A S E

神戸トレーニングセンター・南港サービスセンターを開設

2025年10月1日

- ・ 南港トレーニングセンターを神戸支店構内に移転
- ・ 南港トレーニングセンター跡地に南港サービスセンターを新設
- ・ 拠点の刷新により従業員の環境改善・お客様満足度向上を目指す「ミライ」プロジェクトの一環

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:カール・デッペン、以下 MFTBC)は、従業員向け教育施設「南港トレーニングセンター」(大阪市住之江区)を神戸支店(神戸市東灘区)内に「神戸トレーニングセンター」として移転し、南港トレーニングセンター跡地に「南港サービスセンター」を新設します。神戸トレーニングセンターは2025年10月1日付、南港サービスセンターは2026年1月1日付で業務開始予定です。

これらの移転・新築は、MFTBC が販売・サービス拠点の改築・移転・新築によって従業員の労働環境改善とお客様に対するサービスの高質化を目的に2019年から取り組んでいる「ミライ」プロジェクトの一環です。

南港トレーニングセンターは、MFTBC の専門教育機関「FUSO アカデミー」の拠点として、2009年の設置以来、全国の販売・サービス拠点の従業員向けに、販売・整備を中心としたさまざまな社内教育を行ってきました。MFTBC の川崎トレーニングセンター(神奈川県川崎市)および喜連川トレーニングセンター(栃木県さくら市)とともに、FUSO の販売・サービス能力の強化において重要な役割を担ってきました。

このたび、トレーニングセンターを南港から神戸支店の構内に「神戸トレーニングセンター」として移転しました。神戸トレーニングセンターは、整備工場の3ストールを訓練用設備とし、さらに支店内にトレーニングセンターを設置することで、より現場を意識したトレーニングの実施が可能です。MFTBC はトレーニングセンターの移転によって、社内教育のさらなる活性化と、お客様への販売・サービスの質の向上を目指します。

また、南港トレーニングセンターの跡地には、新たな販売・サービス拠点として「南港サービスセンター」を新設します。所在する大阪南港エリアは、大阪港の利用企業や阪神高速湾岸線を通過する車両など、物流需要の非常に高いエリアです。

南港サービスセンターは約1万m²の敷地に計9ストールの整備スペースと最新鋭の設備機器を備え、整備工場内には空調を完備し、整備士の労働環境にも配慮しました。フェリーターミナルにも近く、物流拠点が集積する大阪南港エリアにおいて、お客様の需要によりタイムリーにお応えすることを目指します。

南港サービスセンターの概要

営業開始予定	2026年1月1日
所在地	大阪市住之江区南港南2-4-88
整備設備(予定)	全 9ストール (内訳: 整備8、検査場1)

※電話番号、営業時間、定休日は後日決定



南港サービスセンター



神戸トレーニングセンター

三菱ふそうトラック・バス株式会社について

三菱ふそうトラック・バス株式会社(MFTBC)は、川崎市に本社を置く商用車メーカーです。ダイムラートラック社が89.29%、三菱グループ各社が10.71%の株式を保有しています。90年以上の歴史を持つFUSOブランドのトラックやバス、産業用エンジンを世界約170の市場向けに開発・製造・販売しています。日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」による電動化や、運転自動化では大型トラック「スーパーグレート」に国内商用車初のSAEレベル2相当の高度運転支援技術を実装するなど、先進技術の開発に積極的に取り組んでいます。

「ミライ」プロジェクトについて

「ミライ」プロジェクトは、お客様への高品質なサービスの提供と、従業員の働く環境のさらなる改善を目的に、国内販売拠点の刷新を進めるプロジェクトです。2019年の開始後、2024年までに全国16拠点の移転・改築を行い、今後もさらなる活動を計画・実行しています。